

携帯端末で大型コンピューターと同様の
データ管理ができる(小松電機産業で)



携帯端末で水道管理

「小松電機産業」開発 異常時、メールで連絡

小松電機産業(松江市、小松昭夫社長)は、パソコンで上下水道を遠隔管理するシステム「やくも水神」を、iPhone(アイフォーン)やiPad(アイパッド)といった携帯端末でも利用できる「Gシリーズ」を開発した。携帯端末による水管理システムは国内初という。今秋をめどに運用を始める。海外進出を目指し、近く、韓国・ソウル事務所も開設する。

上下水道は、水源地やマンホールに設置されたポンプなどを専用の電線でつなぎ、自治体の施設で管理するのが一般的だが、24時間の監視態勢が必要で経費と人手がかかる。

このため同社は2000年に携帯電話回線を利用した遠隔管理システムを開発。水道設備に異常があれば担当者の携帯電話にメールが送信され、運転状況がパソコンで確認できる。経費が従来の3分の1に削減できるという、全国38都府県、190自治体が同システムを導入している。

Gシリーズでは、運転状況をiPhoneやiPadなどの携帯端末でも見られるよう改良。操作が簡単で、より利便性が増したという。同社は新システム導入で、現在自治体への導入占有率11%を3年後には30

%を目指す。

海外市場に売り込み攻勢をかけるため、19日にはソウルに現地事務所を設置。小松社長は「パソコンが苦手な人にも使いやすいように工夫をこらした。新しい時代に向けた画期的なシステムだ」と話している。

ご当地グルメ アイデア募る

浜田市などが、市を代表する「ご当地グルメ」を開発しようと、地元産食材を使った料理のアイデアを募集している。16日まで。

同市や経済団体、消費者団

浜田市など 名

理などを寄せてほしい、としている。副菜やデザートなどでもOK。応募は市外からも受け付け、料理の名前や使う食材、創作料理の場合はレシピも添えてもらう。

最優秀賞1点に地産特産品

作(の)々(は)